

むなかたSDGs教室

海と日本プロジェクト2024

2024年2月

海を守ろうむなかた実行委員会

本企画のポイント

- ① 「海の世界遺産」とも言われる世界文化遺産「神宿る島」沖ノ島が近年直面する漂着ごみ問題などの社会テーマを取り上げ、その領域のフロントランナーとともに実社会の課題解決に取り組むという形式の探究学習プログラム「むなかたSDGsゼミ」を宗像市の中学校、高等学校で実施する
- ② WEBメディア「ささっとう」の学生記者がプロジェクトを取材し定期発信
- ③ 夏休み時期には海の体験学習として小学生対象の単日イベントも開催

事業概要

プロジェクト名

むなかたSDGs教室

世界文化遺産「神宿る島」沖ノ島を有する宗像市。しかし、近年では漂着ごみなどによって海の環境悪化が問題となっています。

本事業では、SDGsの2つの目標に沿って、市内の中学生を対象に、**実社会の課題解決に取り組むという形式の探究学習プログラムを1年間を通じて行います。またこのプロジェクトの様子は、大学生記者が取材し、新聞社が運営するニュースサイトで定期発信。**

加えて、夏休みの期間には小学生を対象に、世界遺産“海と沖ノ島”について学び、海を体験するイベントを開催します。



SGDs (持続可能な開発目標)

4 質の高い教育をみんなに

4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

14 海の豊かさを守ろう

14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

2021年11月27日付 読売新聞朝刊

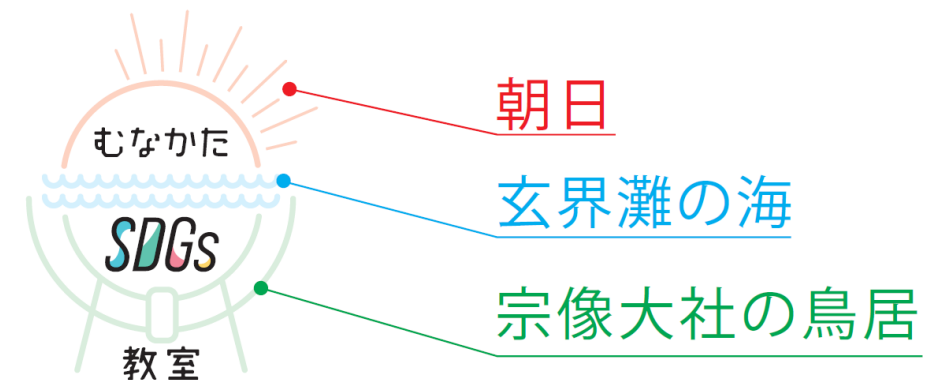
事業ロゴ

本事業を象徴するロゴとして、様々なシーンで広報活用し、事業ブランディングを図ります。



<制作意図>

「宗像大社の鳥居」「玄海灘の海」「朝日」の3つを図案化し、表現しています。中津宮からの朝日の輝きが海面から鳥居へと筋を描く「光の参道」から、明るく楽しい教室という思いをシンプルに親しみやすいロゴにまとめています。



事業趣旨

本事業では、「海と日本プロジェクト」が設定する「参加を期待する5つのアクション」全てを満たしております。



A.海を学ぼう

→セミナー、オリジナル新聞づくり、記者体験、出前授業



B.海をキレイにしよう

→ビーチクリーン



C.海を味わおう

→魚さばき体験



D.海を体験しよう

→カヌー体験



E.海を表現しよう

→海藻押し葉アート、ごみアート

<中学生向け施策> 学習プログラム計画案

<概要>

- 週に1回、1-2コマのセッションを4-8週間(=4-6回)にわたり授業を行います。
 - ※ 1回あたりのコマ数や実施日程、回数などにつきましては、学校様のご事情に合わせ柔軟に対応いたします。
- 海の環境問題に関する社会テーマを各校1種類取り上げ、その領域のフロントランナーを招き、講師とともにテーマに関連した社会課題の解決に取り組む、というスタイルの探究学習を実施します。
- 現地との(オンラインを含む)交流、フィールドワークを交え、社会テーマや社会課題に対する深層に迫ります。

<対象>





- 宗像市立の全中学校・全学年を対象としており、各学校が学年単位で参加していただく形を想定しております。
- 実施校・実施学年の中で、より発展的な内容に取り組んでみたい一部の生徒向けの特別プログラムの実施も検討中です。

<プログラムスケジュール>

- 授業の実施期間については、学校カリキュラムに沿って柔軟に対応いたします。
- 授業開始は9月以降を想定しておりますが、一部の授業は前倒しで7月から開始することも可能です。

<中学生向け施策> 学習プログラム 実施イメージ

 : 対面実施  : オンライン実施

日程	コマ数	運営形式		プログラム概要	詳細
		ファシリテーター	講師		
日程 1-2	1-2 コマ	 		オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの目的や最終的なゴールの説明 テーマや講師に関する導入動画の視聴 簡単な個人ワークやグループワーク
日程 2-4	1-2 コマ			講義・グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 講師によるライブ講義 個人ワークやグループワーク(ディスカッション中心) 講師から全体へのフィードバック
日程 3-5	1-2 コマ			グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 最終プレゼンテーションに向けての説明 グループワーク(プレゼンテーションの作成中心) プレゼンテーションの練習
日程 4-6	1-2 コマ	 		プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション ※時間によっては事前に予選プレゼンを実施 講師からの個別フィードバック・全体総評 振り返り・アンケートなど

<中学生向け施策> 学習プログラム 全体のプロセス

「総合的な探究の時間」学習指導要領の4つのステップを踏まえてプログラムを構築しています。

課題の設定



- 探究学習やプログラムの目的を知る
- 講師やテーマについて知り、興味関心を持つ
- まずは身近なところから触れてみる。

情報の収集



- 具体的な課題や取り組み事例について知る
- 課題についてリサーチしながら考えを深める
- 考えた内容を共有して他人の視点を知る。

整理・分析



- データも活用しながらプレゼンの骨子、方向性、役割等を決める
- プロ視点の指摘をもらいながら内容をブラッシュアップする

まとめ・表現



- 定められた条件下でアウトプットをまとめる
- 人前でのプレゼンや質疑応答を体験する。
- プロの視点の評価や批評により次のステップへ。

<中学生向け施策> 学習プログラム 講師及びテーマ例

中学校での登壇・ワークショップ経験のある以下のような講師の専門性と海を掛け合わせたテーマでの企画を作成予定です。

海 × 都市デザイン・まちづくり



石川 由佳子 氏

アーバン・エクスペリエンス・デザイナー

一般社団法人 for Cities共同代表理事

海 × 遊び・ゲーム・おもちゃづくり



高橋 晋平 氏

おもちゃクリエイター

株式会社ウサギ 代表取締役

海 × 建築・アート・パビリオン制作



森藤 文華 氏

建築家・アーティスト・写真家

2.5 architects主宰

海 × 地域創生・PR・ブランディング



藤山 雷太 氏

株式会社スチームシップ Captain, CEO

海 × 映像・ドキュメンタリー制作



桑山 篤 氏

ドキュメンタリー映画監督

海 × 医療福祉・ヘルスケア・暮らし

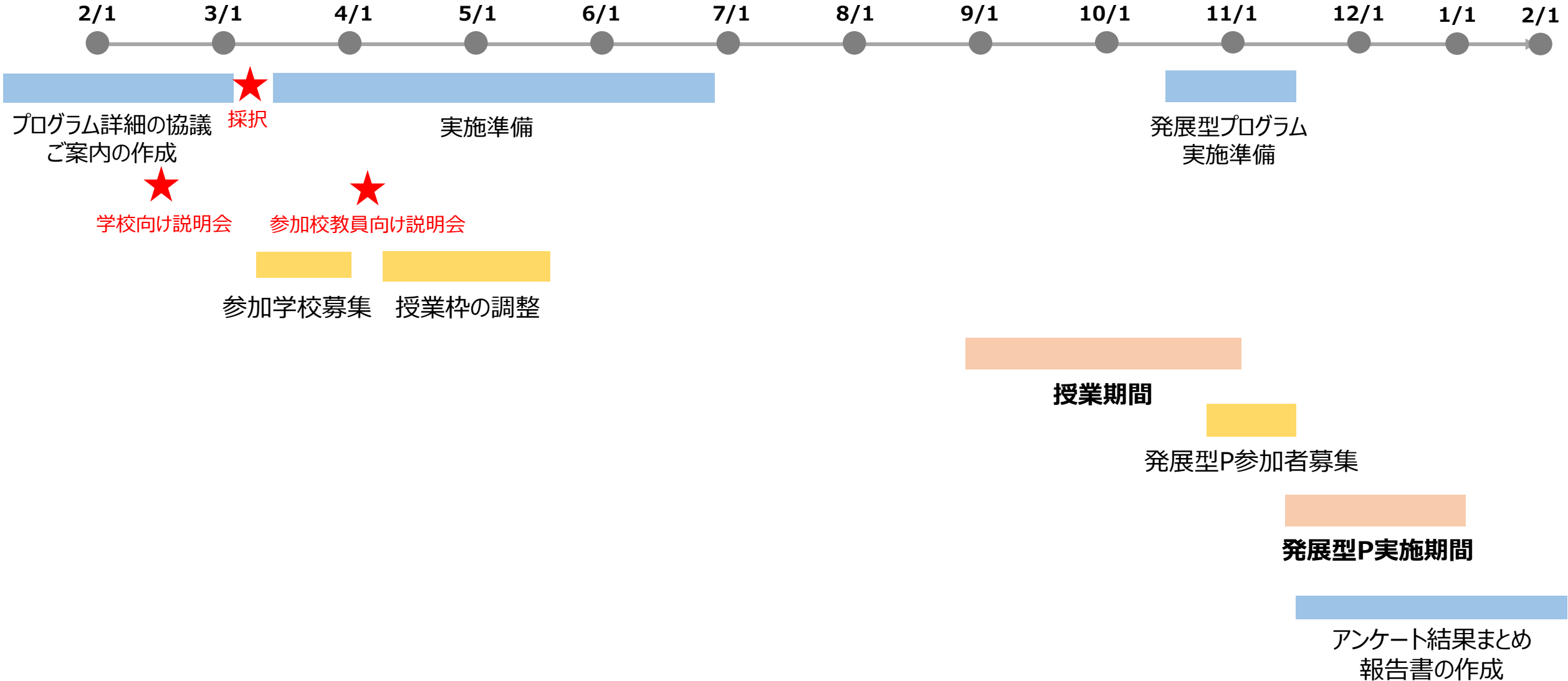


竹田 陽介 氏

医師(循環器内科医)

病院マーケティングサミットJAPAN 代表理事

<中学生向け施策> 学習プログラム スケジュール



＜小学生向け施策＞ イベント案 ー実施概要ー

【実施時期】 7月末から8月中旬の土曜日

※雨天決行、台風接近時は中止

参加者
小学生：40名
学生ボランティア：最大30名

Step1.魚さばき体験



魚の内臓やエラを取り除くさばき体験を行い、各自持ち帰ります。

＜実施形式＞

定員：さばき体験 1回40名
実施時間：1時間程度（午前）
場所：福岡県立少年自然の家
「玄海の家」

Step2.ビーチクリーン



一般社団法人シーズからの協力を得て、清掃活動を実施します。5人1グループで行動し、ごみの得点に沿ってゲーム形式で競います。

＜実施形式＞

定員：1回**40名**
実施時間：2時間程度を想定
場所：鐘崎海岸

Step3.セミナー



市の世界遺産担当者から、「沖ノ島と関連遺産群」（※海の環境問題等を絡めたもの）について学ぶセミナーを開催します。

＜実施形式＞

定員：1回40名
実施時間：45分（午後）
場所：福岡県立少年自然の家
「玄海の家」

※保護者の見学は不可。原則、現地集合・現地解散。ただし、学生ボランティアについては貸切バスを手配し、送迎を行います。
さばいた魚は、漁協の冷蔵庫で保管し、イベント終了後に提供。

＜小学生向け施策＞ イベント ー実施会場案・「玄海の家」ー



福岡県立少年自然の家「玄海の家」 【住所】宗像市神湊1276

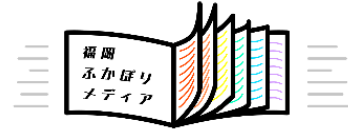


<広報施策> ささっとー学生記者

アースプロジェクト福岡のLINEに登録している学生より「ささっとー学生記者」を選定し、基礎的な記者講習、写真講習を受けた後、取材・執筆を体験してもらいます。完成した記事はささっとーに掲載されます。学生記者の署名も付きます。



登録学生約1,300名



ささっとー



- 学生記者の活動発信
- 記事として形に残る
- 大学側との連携強化
- 登録学生の満足度向上
- 地域貢献活動の発信力

etc.



学生が執筆した記事

ささっとー掲載

LINE発信

リンク掲載

月間約180,000PV

登録学生約1,300人へ訴求

- 市のホームページ
- 公式SNS
- SDGsの取り組み紹介 など

<広報施策> 特設WEBページ —参加者募集・イベント採録・ニュース発信—

「福岡ふかぼりメディアささっとー」内での特設コーナー

「福岡ふかぼりメディアささっとー」（以下、ささっとー）とは、読売新聞西部本社が2019年より運営するローカルウェブメディア。福岡県に特化した様々なテーマを取り上げています。

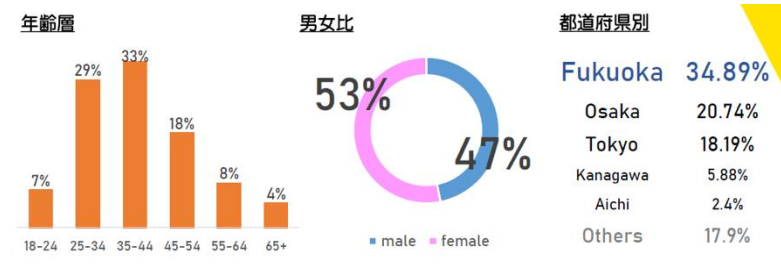
ささっとーには、ネイティブアドの形式で本事業に関する記事のほか、関係者への取材、宗像市内及び周辺地域の海に関連するイベント等を取り上げます。

ささっとートップページ



POINT

- (1) 25歳～44歳のアクセスが大半を占める
- (2) 福岡県在住者のアクセス1位



Source = 2019.10.1-12.31 / GoogleAnalytics / 関係者アクセス・PR記事へのアクセスを除いています

ネイティブアド…編集記事のテイストをそのままに

「ささっとー」では、サイトユーザーが自然に広告に触れてもらえる「ネイティブアド」の広告商品を用意しています。



<広報施策> 特設WEBページ

—参加者募集・イベント採録・ニュース発信—

本プロジェクト専用の特設コーナーを作成。イベントの報告や宗像市の海に関連するお知らせを中心にサイトを構築します。（掲載期間8カ月～）

ささっとトップページ



【掲載予定】

7月上旬

8月～翌年3月

事前告知ページ公開

イベント記事ほか掲載

特設コーナー

POINT

動画も掲載可能！



コンテンツ

- 関係者への取材
- イベントレポート
- **参加者感想**
- 関連団体の取り組み紹介
- 海に関連するクイズ
- 海に関するイベント情報
- 動画配信

などを予定

パノラマ新聞制作

読売新聞西部本社では、狙ったエリアに確実に広告展開ができる「パノラマ紙面」を発行しています。新聞4面分の1.6m幅のワイドな紙面で、原寸大・等身大といった写真が掲載でき、迫力ある自由自在なレイアウトが可能です。パノラマ新聞は、岐阜県以西では読売新聞だけが発行できる特殊な紙面になります。

【事例】海と日本プロジェクト2022「むなかたSDGs教室」



- 【内容】
- ・海ごみ問題と生態系
 - ・世界遺産「沖ノ島と関連遺産群」
 - ・子どもたちのオリジナル新聞
 - ・参加者感想
 - ・福岡県の取り組み
 - ・イベント紹介 など



配布時期：2025年1月～

想定配布部数
8万部

宗像市内の小中学校に配布。
(+α近隣の小中学校にも)
➡そのほか、県内の読売新聞朝刊や読売KODOMO新聞に折り込み、市内施設への掲示、学生ボランティア協力校に寄贈等で活用。

パノラマ新聞配布

配布先	配布部数概算
宗像市周辺小学校20校程度	8,000部
宗像市公立中学校6校程度	7,500部
KODOMO新聞折込み	4,500部
関連施設設置（宗像市、福津市）	5,000部
朝刊折込み（福岡県全域）	55,000部
	計80,000部



(C)INCREMENT P. CORP.

宗像国際環境会議

宗像国際環境会議 (<https://www.munakata-eco.jp/>) は、玄界灘の海水温度の上昇により沿岸部に広がる磯焼け、漂着ゴミ（マイクロプラスチック）の問題を中心に「海の鎮守の森」構想を掲げ、海の再生事業に取り組みながら、近年の急激な海の変化への提言や情報を国内外に発信するため、2014年に設立されました。

宗像国際環境会議のセッションの間に
本事業報告の時間を設定します



【実施時期】 10月下旬頃

【2022年度の実施概要】

世界遺産登録5周年記念

第9回 宗像国際環境会議

MUNAKATA ECO INTERNATIONAL SYMPOSIUM

常若 生命の源泉
TOKOWAKA

令和4年 10/26 (水) ~ 28 (金)

場 所 | 宗像大社

開催方法 | オフライン (オンライン配信)

参加費 | 3,000 円 3日間

※ FASHIONSHOW 5,000 円

※ 10月29日(土) 11:00 豊穰祭/稚魚放流行事

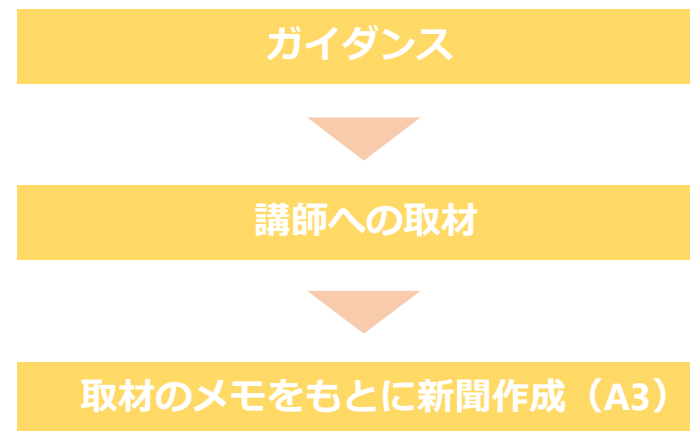
むなかた子ども大学

宗像市では、子どもの健やかな成長が保障されるまちづくりを目指し市内在住の小学生を対象とした「むなかた子ども大学」を2021年11月14日に開校しました。（<https://www.munakata-kodomo-daigaku.city.munakata.lg.jp/>）
さまざまな分野で活躍されている大学や企業の方が講師となって子どもたちが感じている「なぜ？」といった素朴な疑問や「やってみたい！知りたい！」といった意欲に基づくテーマについて講座や体験活動を提供するワン・デイ・イベントです。

海と日本プロジェクトと連動して読売新聞社が参加し「海」や「世界遺産」をテーマとした記者体験を実施します。



実施の流れ（イメージ）



※会場の関係上、海に行って取材を行うことはできません。

学生ボランティア

① ささっとー公式アカウント (Twitter) のフォロー及び「海と日本プロジェクト」に関する記事のリツイートなどによる拡散



② 可能な範囲で「海と日本プロジェクト」での取り組みを自ら情報発信。(Twitter, Instagram, Facebookのいずれか)



関連団体と役割

- ◆ 読売新聞西部本社： 事業全般の企画進行及び管理。広報業務・成果物の作成など
- ◆ 宗像市： 企画立案やイベント会場の確保、関連団体との窓口、講師協力など
- ◆ 福岡県立少年自然の家「玄海の家」： 会場場所の提供や講師協力
- ◆ むなかた大学のまち協議会： 市内大学・高校への学生ボランティア参加の呼びかけ
- ◆ 一般社団法人シーズズ： ビーチクリーンや魚捌き体験、講師協力
- ◆ 宗像市教育委員会： 市内小学校や福津市教育委員会との連携
- ◆ 株式会社ミエタ： 探究学習プログラムの構築・講師およびコーディネーター派遣

授業プログラム担当のミエタ社について



株式会社ミエタ

所在地 東京都港区新橋2-5-2

創立 2016年7月

事業内容 授業プログラム事業

教育人材プラットフォーム事業

代表者 代表取締役 村松知明

4大都市圏を中心に約50校の導入実績



受賞歴



第12回 キャリア教育アワード 優秀賞

採択歴



令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

令和4年度第2次補正予算



実証事業



一般財団法人

三菱みらい育成財団

カテゴリ-2：心のエンジンを駆動させるプログラム